

広陵町土木工事重点監督実施要領

令和7年10月23日制定

（趣旨）

第1条 広陵町の入札する土木工事（関連設備工事を含む。）において、契約内容に適合した施工と工事目的物の品質確保を図ることを目的として、重点監督の実施について必要な事項を定める。

（総則）

第2条 「重点監督」とは、広陵町建設工事監督要領（平成11年9月1日制定。以下「監督要領」という。）に定める監督に加え、施工状況の確認及び把握の強化を実施することをいう。「重点監督」の実施は監督要領及び広陵町建設工事検査要領（平成11年9月1日制定。以下「検査要領」という。）に定めるもののほか、この要領に定めるところによるものとする。

（対象工事）

第3条 重点監督の対象工事は次のとおりとする。

- (1) 「低入札価格調査の調査基準価格（税抜）を下回る入札を行い、契約を行った工事（以下「低入札工事」という。）
- (2) 町長が、契約内容に適合した施工と工事目的物の品質確保を図るために特に必要と認めた工事（重点監督体制）

第4条 重点監督の対象工事は、監督要領第3条及び第4条に定めるところによる監督責任者及び監督員に加えて、「重点監督員」「指導点検員」を置くものとする。

2 重点監督員は、監督要領第4条に定める総括監督員相当職にある者とし、事業担当課長（以下「担当課長」という。）が指名する者とする。なお、当該工事に総括監督員が配置されている場合は、その者に重点監督員を兼ねさせることができるものとする。

3 指導点検員は、企画総務部総務課長が指名する者とする。

（重点監督の実施）

第5条 監督員は、「重点監督実施フロー（別表1）」に基づき、以下の事項及び監督員が必要と認める事項により重点監督を実施するものとする。

(1) 段階確認は、「段階確認一覧（別表2）」によるものとする。

(2) 施工状況把握は、「施工状況把握一覧（別表3）」によるものとする。

2 監督員は、施工プロセスのチェックリストに基づき確認を行うほか、「重点点検簿一覧（別表4）」に定める重点点検を実施するものとする。

3 前2項の重点監督及び重点点検は、監督員又は現場技術員が臨場により行うことを原則とする。

4 対象工事で重要な工種において総括監督員は、重点監督員及び指導点検員の立会の上合同重点点検を行うものとする。

5 合同重点点検時において、「施工体制の合同重点点検簿」（点検様式3）により改善指導を行った場合、当該工事の監督員は、受注者に対して文書による改善指示を行い、不適切な事項の改善を求めるものとする。

（受注者の施工体制）

第6条 低入札工事において、広陵町の発注する工事で、入札日の属する年度の前2年度に完成したもののうち、(1)～(3)のいずれかに該当する工事がある受注者には、主任（監理）技術者とは別に同等程度の技術者（以下「補助監理技術者」という。）を、専任で1名配置させることとする。なお、主任（監理）技術者及び増員する技術者に特例監理技術者を配置することは認めないものとする。

(1) 発注者から施工中又は施工後において建設工事請負契約書に基づいて補修又は損害賠償を請求された工事。ただし、軽微な手直しは除く。

(2) 品質管理、安全管理に関し、指名停止又は担当課長若しくは総括監督員から書面により警告若しくは注意の喚起を受けた工事

(3) 自らの行為に起因して工期が大幅に遅延した工事

2 前項に該当する場合において発注者は、受注者に対して主任（監理）技術者の届出と同様に、補助監理技術者の届出をさせることとする。

3 受注者は、前項の届出が提出された後に工事着手できるものとし、担当課長は、本届出が提出されない場合、工事着手の中止その他必要な措置をとるものとする。

4 補助監理技術者は、主任（監理）技術者を補助し、主任（監理）技術者と同様の職務を行うものとする。

（受注者の品質管理）

第7条 受注者は、当該工事に適用する「施工管理基準」中の「品質管理基準」に示されているものうち、現場施工に関する「試験区分」欄の「必須」の項目及び監督員が必要と認める事項について、「試験基準」を基準に定める試験回数を2倍の頻度をもって実施し、品質管理を行うものとする。

2 低価格入札者で契約者となったものは、本要領に示す品質管理及び品質管理の為の監督補助として、「別紙 低入札工事における建設現場への記録用カメラ等の設置について」に従い品質管理を行うものとする。

（検査）

第8条 検査に際しては、「検査要領」及び当該工事に適用する「技術検査基準」等の諸基準により、一層厳格な検査を実施するものとする。

（結果報告）

第9条 担当課長は、当該工事が完了したときは、重点監督報告書（点検様式4）により点検結果をまとめて、町長に報告するものとする。

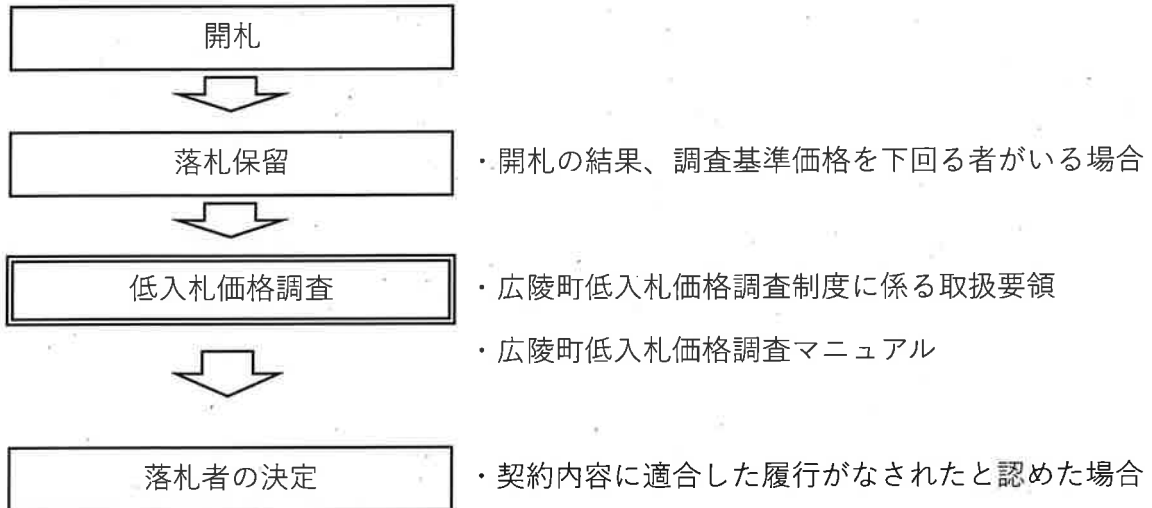
附 則

この要領は、令和7年10月23日から施行する。

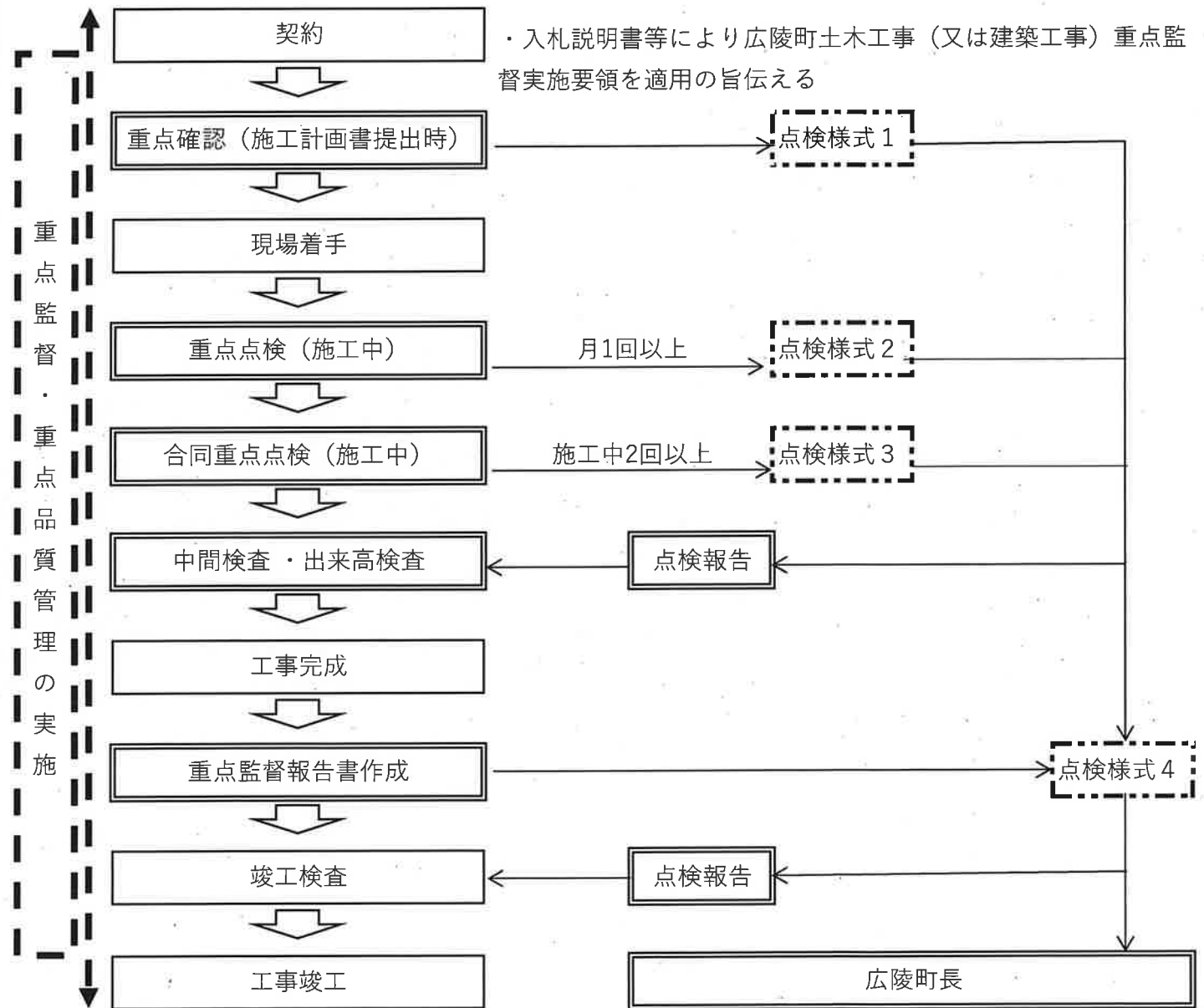
別表 1

重点監督実施フロー

○開札から契約まで



○契約から完成まで



種別	細別	確認時期	確認事項	確認の程度
指定仮設工		設置完了時	使用材料、高さ、幅、長さ、深さ等	1回／1工事
河川土工（掘削工） 砂防土工（掘削工） 道路土工（掘削工）		土（岩）質の変化した時	土（岩）質の変化位置	1回／1土（岩）質の変化毎
道路土工 （路床盛土工） 舗装工 （下層路盤工）		プルフローリング実施時	プルフローリング実施状況	1回／1工事
表層安定処理工	表層混合処理 路床安定処理	処理完了時	使用材料、基準高、幅、延長、施工厚さ	一般：1回／1工事 重点：1回／100m
	置換	掘削完了時	使用材料、幅、延長、置換厚さ	一般：1回／1工事 重点：1回／100m
	サンドマット	処理完了時	使用材料、幅、延長、施工厚さ	一般：1回／1工事 重点：1回／100m
バーチカルドレーン工	サンドドレーン	施工時	使用材料、打込長さ	一般：1回／200本 重点：1回／100本
	袋詰式サンドドレーン ペーパードレーン	施工完了時	基準高、施工位置、杭径	一般：1回／200本 重点：1回／100本
締固め改良工	サンドコンパクションパイル	施工時	使用材料、打込長さ	一般：1回／200本 重点：1回／100本
		施工完了時	施工位置、杭径	一般：1回／200本 重点：1回／100本
固結工	粉体噴射攪拌	施工時	使用材料、深度	一般：1回／200本 重点：1回／100本
	高压噴射攪拌			
	セメントミルク攪拌	施工完了時	基準高、位置、間隔、杭径	一般：1回／200本 重点：1回／100本
	生石灰パイル			
	薬液注入	施工時	使用材料、深度、注入量	一般：1回／20本 重点：1回／10本
アンカー工		施工時	モルタルグラウト品質管理、載荷試験、配置誤差	一般：30％程度／1構造物 重点：60％程度／1構造物
補強土壁工		施工時	現場密度	一般：30％程度／1構造物 重点：60％程度／1構造物
矢板工 （仮設を除く。）	鋼矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板＋ 一般：1回／150枚
		打込完了時	基準高、変位	重点：1回／100枚
	鋼管矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	試験矢板＋ 一般：1回／75枚
		打込完了時	基準高、変位	重点：1回／50枚

種別	細別	確認時期	確認事項	確認の程度
既設杭工	既設コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打込時	使用材料、長さ、 溶接部の適否、杭の 支持力	試験杭＋ 一般：１回／10本 重点：１回／5本
	既設コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打込完了時 （打込杭）	基準高、偏心量	試験杭＋ 一般：１回／10本 重点：１回／5本
		掘削完了時 （中掘杭）	掘削長さ、杭の先 端土質	
		施工完了時 （中掘杭）	基準高、偏心量	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般：１回／10本 重点：１回／5本
場所打杭工	リバース杭 オールケーシング杭 アースドリル杭 大口径杭	掘削完了時	掘削長さ 支持地盤	試験杭＋ 一般：１回／10本 重点：１回／5本
		鉄筋組立完了時	使用材料、設計図 書との対比	一般：30％程度／１構造物 重点：60％程度／１構造物
		施工完了時	基準高、偏心量、 杭径	試験杭＋ 一般：１回／10本 重点：１回／5本
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般：１回／10本 重点：１回／5本
深礎工		土(岩) 質の変化し た時	土(岩) 質、変化位 置	1回／土(岩) 質の変化毎
		掘削完了時	長さ、支持地盤	一般：１回／3本 重点：全数
		鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図 書との対比	1回／1本
		施工完了時	基準高、偏心量、 径	一般：１回／3本 重点：全数
		グラウト注入時	使用材料、使用量	一般：１回／3本 重点：全数
オープンケーソン 基礎工 ニューマチック ケーソン基礎工		鉄沓据付け完了時	使用材料、施工位置	1回／1構造物
		本体設置前（オー プンケーソン）	支持層	
		掘削完了時(ニュー マチックケーソン)		
		土(岩) 質の変化し た時	土(岩) 質、変化位 置	1回／土(岩) 質の変化毎
		鉄筋組立完了時	使用材料、設計図 書との対比	1回／1ロット

種別	細別	確認時期	確認事項	確認の程度
鋼管井筒基礎工		打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否、支持力	試験杭＋ 一般：1回／10本 重点：1回／5本
		打込完了時	基準高、偏心量	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	一般：1回／10本 重点：1回／5本
置換工 （重要構造部）		掘削完了時	使用材料、幅、延長、置換厚さ、支持地盤	1回／1 構造物
築堤・護岸工		法線設置完了時	法線設置状況	1回／1 法線
砂防ダム		法線設置完了時	法線設置状況	1回／1 法線
護岸工	法履工（履行施工がある場合）	履行前	設計図書との対比（不可視部分の出来形）	1回／1 工事
	基礎工、根固工	設置完了時	設計図書との対比（不可視部分の出来形）	1回／1 工事
重要構造物 函渠工（樋門・樋管を含む） 躯体工（橋台） RC躯体工（橋脚） 橋脚フーチング工 RC擁壁 砂防ダム 堰本体工 排水機場本体工 水門工 共同溝本体工		土（岩）質の変化した時	土（岩）質、変化位置	1回／土（岩）質の変化毎
		掘削完了時	支持地盤（直接基礎）	1回／1 構造物
		鉄筋組立完了時	使用材料 設計図書との対比	一般：30%程度／1 構造物 重点：60%程度／1 構造物
		埋め戻し前	設計図書との対比（不可視部分の出来形）	1回／1 構造物
躯体工 RC躯体工		沓座の位置決定時	沓座の位置	1回／1 構造物
床版工		鉄筋組立完了時	使用材料 設計図書との対比	一般：30%程度／1 構造物 重点：60%程度／1 構造物
鋼橋		仮組立完了時（仮組立が省略となる場合を除く）	キャンパー、寸法等	一般：－ 重点：1回／1 構造物
トンネル掘削工		土（岩）質の変化した時	土（岩）質、変化位置	1回／土（岩）質の変化毎
トンネル支保工		支保工完了時（支保工変更時）	吹きつけコンクリート厚	1回／支保工変更毎

種別	細別	確認時期	確認事項	確認の程度
トンネル支保工		支保工完了時（支保工変更時）	ロックボルト打込本数及び長さ	1回／支保工変更毎
トンネル履工		コンクリート打設前	巻立空間	一般：1回／構造の変化毎 重点：3打設毎または1回／構造の変化毎の頻度の多い方 ※重点監督：地山等級がD、Eのもの 一般監督：重点監督以外のもの
		コンクリート打設後	出来形寸法	1回／200m以上臨場により確認
トンネルインバート工		鉄筋組立完了時	設計図書との対比	1回／構造の変更毎
ポストテンション T（I）桁製作工 プレキャストブロック桁組立工 プレビーム桁製作工 PCホロースラブ製作工 PC版桁製作工 PC箱桁製作工 PC片持箱桁製作 PC押出箱桁製作		プレストレス導入完了時	設計図書との対比	一般：5%程度／総ケーブル数 重点：10%程度／総ケーブル数
		横締め作業完了時		
		プレストレス導入完了時	設計図書との対比	一般：10%程度／総ケーブル数 重点：20%程度／総ケーブル数
		縦締め作業導入完了時		
ダム工	各工事ごと別途定める。	PC鋼線・鉄筋組立完了時（工場製作を除く。）	使用材料 設計図書との対比	一般：30%程度／1構造物 重点：60%程度／1構造物

注）表中の「確認の程度」は、把握頻度の目安であり、実施に当たっては現場状況等を勘案の上、これを最小限と設定すること。

・1ロットとは、橋台等の単体構造物はコンクリート打設毎、函渠等の連続構造物は施工単位（目地）毎とする。

・一般監督：重点監督以外の工事

・重点監督：下記の工事

ア 低入札

イ その他

種別	細別	施工時期	把握項目	把握の程度
オープンケーソン基礎工 ニューマチックケーソン基礎工 深礎工		コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
場所打杭工	リバース杭 オールケーシング杭 アースドリル杭 大口径杭	コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
重要構造物 函渠工（樋門・樋管を含む） 躯体工（橋台） RC躯体工（橋脚） 橋脚フーチング工 RC擁壁 砂防ダム 堰本体工 排水機場本体工 水門工 共同溝本体工		コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
床版工		コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
ポストテンションT（I）桁製作工 プレビーム桁製作工 PCホロースラブ製作工 PC版桁製作工 PC箱桁製作工 PC片持箱桁製作工 PC押出箱桁製作工		コンクリート打設時 （工場製作を除く）	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	一般：1回／1構造物 重点：1回／1ロット
トンネル工		施工時 （支保工変更毎）	施工状況	一般：1回／支保工変化毎 重点：1回／支保工変化毎ただし、最低10支保工毎 ※重点監督：地山等級がD、Eのもの 一般監督：重点監督以外

種別	細別	施工時期	把握項目	把握の程度
盛土工 河川 道路 砂防		敷均し・転圧時	使用材料、敷均し・ 締固め状況	一般：1回／1工事 重点：2～3回／1工事
舗装工	路盤、表層、基層	舗設時	使用材料、敷均し・ 締固め状況、天候、 気温、舗設温度	一般：1回／1工事 重点：1回／3,000m ²
塗装工		清掃、錆落とし施 工時	清掃、錆落とし状況	1回／1工事
		施工時	使用材料、天候、 気温	1回／1工事
樹木・芝生管理工、 植生工	施肥、薬剤散布	施工時	使用材料、天候、 気温	1回／1工事
ダム工	各工事ごと別途定める。		各工事ごと別途定める。	

注）表中の「把握の程度」は、把握頻度の目安であり、実施に当たっては現場状況等を勘案の上、これを最小限と設定すること。

- ・ 1ロットとは、橋台等の単体構造物はコンクリート打設毎、函渠等の連続構造物は施工単位（目地）毎とする。
- ・ 一般監督：重点監督以外の工事
- ・ 重点監督：下記の工事
 - ア 低入札
 - イ その他

重点点検簿一覧（広陵町）

点検名及び点検時期	点検者 (発注者)	受検者（請負者）	点検内容	備考
施工体制の重点確認簿 (施工計画書提出時) (点検様式1)	総括監督員	現場代理人 監理（主任）技術者 補助監理技術者	施工計画書及び施工体制等について、監理技術者または補助監理技術者からの説明（ヒアリング）を求め、確認する。 点検簿の記載は総括監督員において行い、「改善指導」した項目は後日「改善確認」を行い、その状況を点検簿に纏める。	請負者は、左記の者が、受検し点検結果を確認するものとする。
施工体制の重点点検簿 (施工中・月1回以上) (点検様式2)	一般監督員	現場代理人 監理（主任）技術者 補助監理技術者 (必要に応じて)	施工プロセスのチェックリスト及び点検簿を基に、書面確認及び現場確認を実施する。 点検簿の記載は一般監督員において行い、「改善指導」した項目は後日「改善確認」を行い、その状況を点検簿に纏める。	請負者は、左記の者が、受検し点検結果を確認するものとする。
施工体制の合同重点点検簿 (施工中2回以上) (点検様式3)	総括監督員 立会者 重点監督員 指導点検員	現場代理人 監理（主任）技術者 補助監理技術者 (必要に応じて)	指導点検員の立会により、点検簿を基に書面確認及び現場確認を実施する。 点検簿の記載は総括監督員において行い、「改善指導」した項目は後日「改善確認」を行い、その状況を点検簿に纏める。	請負者は、左記の者が、受検し点検結果を確認するものとする。
重点監督報告書 (工事完成時) (点検様式4)	担当事業課長		点検様式4を用い点検様式1～3を纏めて、担当事業課長が町長まで報告する。（点検様式1～3の写しを添付）	

点検様式 1

(広陵町)

担当事業課長	総括監督員	総括監督員	一般監督員

工事名称			
工事場所		請負者名	
契約金額		契約工期	

施工体制の重点確認簿（施工計画書提出時）

点検日	:	年	月	日	
点検者		受検者			
総括監督員	職	氏名	現場代理人	氏名	印
			監理（主任）技術者	氏名	印
			補助監理技術者	氏名	印

番号	点 検 項 目	点検結果（チェック欄）		
①	補助監理（主任）技術者の届出確認	書面による確認		
	補助監理技術者の氏名 資格	適	改善指導	改善確認
②	監理（主任）技術者・補助監理（主任）技術者は、施工計画を説明できるか	面談等による確認		
	監理（主任）技術者	適	改善指導	改善確認
	補助監理技術者	適	改善指導	改善確認
③	施工計画の内容が適正か（低入調査時の提出資料との確認含む）	書面による確認		
	工事概要は適正であるか。	適	改善指導	改善確認
	工程計画が適切に計画されているか。	適	改善指導	改善確認
	現場組織が適切に計画されているか。	適	改善指導	改善確認
	主要機材の搬入及び仕様が適切に計画されているか。	適	改善指導	改善確認
	主要資材の搬入及び仕様が適切に計画されているか。	適	改善指導	改善確認
	施工方法（施工順序、方法、所要日数等）が適切に計画されているか。	適	改善指導	改善確認
	施工管理計画が適切に計画されているか。	適	改善指導	改善確認
	緊急時の体制及び対応が適切に計画されているか。	適	改善指導	改善確認
	交通管理が適切に計画されているか。	適	改善指導	改善確認
	安全管理計画が適切であるか。	適	改善指導	改善確認
	仮設備計画が適切に計画されているか。	適	改善指導	改善確認
	環境対策が適切に計画されているか。	適	改善指導	改善確認
	施工体制台帳、施工体系図は適正であるか。	適	改善指導	改善確認
	設計内容を正確に把握し、その内容を反映できているか。	適	改善指導	改善確認
④	施工体制一般	書面による確認		
	「施工プロセス」のチェックリストの着手前チェック項目が、適正に履行されているか。	適	改善指導	改善確認

【改善指導を行った場合、後日監督員が改善確認を行い当欄にチェックする】

不適・改善指導であった項目の詳細指導内容	指導に対する改善状況	総合所見及び今後の対応

点検様式 2

(広陵町)

担当事業課長	総括監督員	総括監督員	一般監督員

工事名称			
工事場所		請負者名	
契約金額		契約工期	

施工体制の重点点検簿（施工中・月1回以上）

1/2

点検日： 年 月 日 点検の回数 第 回

点検者

受検者

現場代理人 氏名 印

監理（主任）技術者 氏名 印

補助監理技術者 氏名 印

一般監督員 職 氏名

番号	点 検 項 目	点検結果（チェック欄）		
①	施工体制一般	現場確認による確認		
	「施工プロセス」のチェックリストの着手前チェック項目が、適正に履行されているか。	適	改善指導	改善確認
②	書類点検	書面による確認		
	CORINS登録内容に変更があれば、適正に行われているか。	適	改善指導	改善確認
	施工体制台帳に添付されている下請契約書の請負代金の額が500万円を超える下請け人は、工事内容に対応した建設業法の許可を有しているか。	適	改善指導	改善確認
	施工体制台帳に記載された下請請負人の主任技術者は、当該工事を施工するために必要な資格があるか。	適	改善指導	改善確認
	一括請負の疑いはないか。	適	改善指導	改善確認
	下請負人は、建設業法により営業停止を命じられていないか、又は入札参加停止を受けている者ではないか。（営業停止又は入札参加停止を受ける前に締結した請負契約を除く。）	適	改善指導	改善確認
③	現場立入点検（1） 施工計画・設計仕様と現場（工場製作含む）の確認	現場確認		
	施工方法（工法、手順、工程等の合致確認）	適	改善指導	改善確認
	使用機械（施工計画書どおりの機械の使用を確認）	適	改善指導	改善確認
	使用資材（品質・規格・仕様の確認）	適	改善指導	改善確認
	建設副産物の処理（運搬体制・搬出先と処理体制）	適	改善指導	改善確認
	仮設工（指定仮設・任意仮設の施工状況）	適	改善指導	改善確認
	安全管理（危険作業の把握、安全施設の設置、安全管理に関する記録簿の整理）	適	改善指導	改善確認
④	現場立入点検（2） 施工体制の確認（工場製作を含む。）	現場確認による確認		
	監理技術者資格者証を携帯しているか。（提示はあるか。）	適	改善指導	改善確認
	監理技術者資格者証の所属、工種区分、期限は有効か。（裏書も確認）	適	改善指導	改善確認
	監理技術者は、当該工事の施工方法等を説明できるか。	適	改善指導	改善確認
	元請負人（1次下請け等）が、その下請工事の施工に実質的に関与しているか。	適	改善指導	改善確認
		適	改善指導	改善確認

番号	点 検 項 目	点検結果（チェック欄）		
④	現場立入点検（２） 施工体制の確認（工場製作含む）	現場確認		
	現場に備えている施工体制台帳に必要な事項が記載されている。	適	改善指導	改善確認
	施工体制台帳に下請負人との契約書、監理技術者資格証の写し等必要書類は添付されているか。	適	改善指導	改善確認
	施工体制台帳に記載されていない業者が作業していないか。	適	改善指導	改善確認
	施工体制台帳に記載された下請負人の工事内容は現場の作業と合致しているか。	適	改善指導	改善確認
	施工体制台帳に添付されている下請契約書の請負代金の額が4,500万円以上である場合、その下請負人の主任技術者が、現場に常駐しているか。	適	改善指導	改善確認
	現場に備えている施工体系図に必要な事項が記載されているか。	適	改善指導	改善確認
	施工体系図の記載内容は、施工体制台帳と合致しているか。	適	改善指導	改善確認
	元請負人、下請負人いずれも業務に関する法令（労働安全衛生法等）に違反する事実はないか。	適	改善指導	改善確認

【改善指導を行った場合、後日監督員が改善確認を行い当欄にチェックする。】

不適・改善指導であった項目の詳細指導内容	指導に対する改善状況	総合所見及び今後の対応

(広陵町)

担当事業課長	総括監督員	総括監督員	一般監督員

施工体制の合同重点点検簿（施工中・2回以上）

点検日 : 年 月 日 点検の回数 第 回

受検者

総括監督員	職	氏名	現場代理人	氏名	印
重点監督員	職	氏名	監理（主任）技術者	氏名	印
指導点検員	職	氏名	補助監理技術者	氏名	印

点検を行う工程		低入調査時の積算内訳書等を参考に重点点検工程を発注者で2工程程度設定		
番号	点 検 項 目	点検結果（チェック欄）		
①	請負者が下記事項に対し、自主的に確認・記録を行っているか。	現場確認		
	工程管理（実施工程表と対比し適正な工程管理がなされていることが、書面で確認できる。）	適	改善指導	改善確認
	出来形管理（施工計画書の記載に基づき、適正な出来形管理がなされていることが、書面で確認できる。）	適	改善指導	改善確認
	作業手順書（日々の作業内容、実施状況、作業予定確認・指示事項の整備が書面で確認できる。）	適	改善指導	改善確認
	品質管理（管理・確認実施状況を書面で確認できる。）	適	改善指導	改善確認
	安全管理（新規入場者教育、安全教育訓練、KY活動等の実施状況が書面で確認できる。）	適	改善指導	改善確認
②	施工計画・設計仕様と現場（工場製作を含む。）の確認	現場確認		
	施工方法（工法、手順、工程等の合致確認）	適	改善指導	改善確認
	使用機械（施工計画書どおりの機械の使用を確認）	適	改善指導	改善確認
	使用資材（品質・規格・仕様の確認）	適	改善指導	改善確認
	建設副産物の処理（運搬体制・搬出先と処理体制）	適	改善指導	改善確認
	仮設工（指定仮設・任意仮設の施工状況）	適	改善指導	改善確認
③	安全管理（危険作業の把握、安全施設の設置、安全管理に関する記録簿の整理）	適	改善指導	改善確認
	個々の点検事項			
		適	改善指導	改善確認
		適	改善指導	改善確認

【改善指導を行った場合、後日監督員が改善確認を行い当欄にチェックする。】

不適・改善指導であった項目の詳細指導内容	指導に対する改善状況	総合所見及び今後の対応

点検様式 4

(広陵町)

町長	副町長	都市整備部長	担当部長	都市整備課長

工事名称			
工事場所		請負者名	
契約金額		契約工期	

重点監督報告書（工事完成時）

報告者

担当事業課長 氏名

作成日： 年 月 日

番号	点 検 結 果
①	施工体制の重点確認簿（施工計画書提出時）
	点検日：令和 年 月 日
	改善指導を行った項目
	指導内容と改善結果の状況
②	施工体制の重点点検簿（施工中・月 1 回以上）
	点検回数： 回
	改善指導を行った項目
	指導内容と改善結果の状況
③	施工体制の合同重点点検簿（施工中 2 回以上）
	点検回数： 回
	改善指導を行った項目
	指導内容と改善結果の状況

総合所見